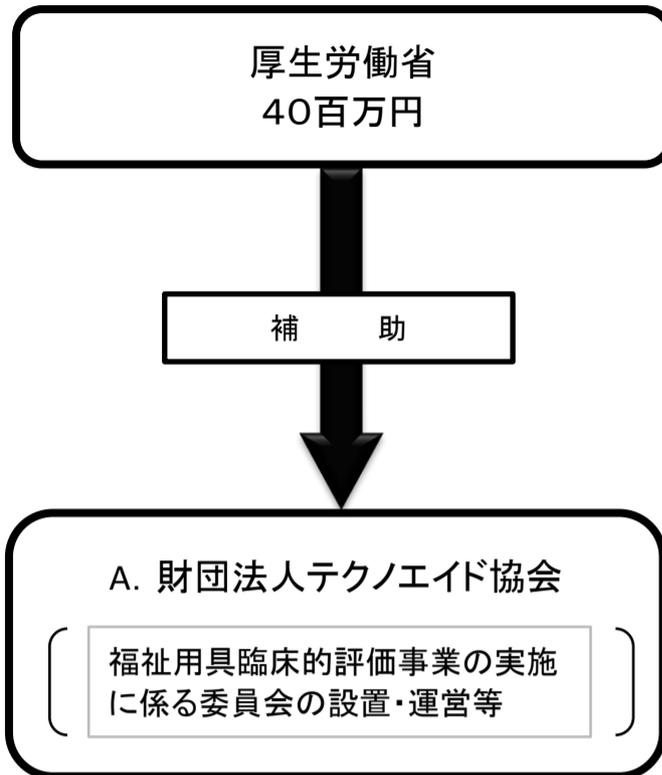


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	テクノエイド協会事業費	事業開始年度	平成6年度	作成責任者		
担当部局	老健局	担当課室	振興課	振興課長 川又竹男		
会計区分	一般会計	上位政策	高齢者社会活動支援事業費補助金			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	予算補助	関係する計画、通知等	テクノエイド協会事業費補助金交付要綱(平成20年4月22日付 厚生労働省発老第0422004号)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢者による福祉用具の誤操作、重大事故が多発していることから、利用者が使用する場面(臨床)を想定しての客観的指標に基づく安全性・操作性(=使い勝手等)に関する評価、公表及び情報提供を行う環境整備を推進し、福祉用具の使用に当たっての安全性、利便性を確保する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>本事業はテクノエイド協会を事務局として、厚生労働省が別途委託する評価機関と連携し、利用者が福祉用具を使用する場面を想定した、評価の実施及び公表を実施するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の評価基準の策定 ・厚生労働省が委託した評価機関において評価を行った結果に基づく評価結果の確定 ・厚生労働省が委託した評価機関の育成・指導 ・事業の実施に必要な委員会の設置 ・事業及び事業で評価を受けた福祉用具の情報収集・情報提供 					
実施状況	【活動指標名】	単位	平成21年度			
	認証件数	件	41			
※ 平成21年度より事業内容見直しのため、平成20年度以前の実績無し						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	40	40	40	32	31
	執行額	40	40	40		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	40	40	40		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	毎年度、国庫補助金により実施した事業実績(内容、頻度、規模等)及び国庫補助金の用途の明細について、(財)テクノエイド協会に実績報告を提出させ用途を確認している。				
	見直しの余地	<p>福祉用具については、製品欠陥、誤使用による事故が多発しており、使用に際しての安全性・操作性等の確保について一層の推進を図ることが重要である。このため、経済産業省における新たなJISマーク制度等の製品の安全性を確保する取組みと相まって、利用者が使用する場面における安全性・操作性に関する評価として福祉用具臨床的評価事業に取り組んでいるところである。</p> <p>テクノエイド協会は、臨床的評価事業における評価結果の確定や評価基準の策定等、事業の取りまとめ機関であるが、平成22年度予算では効率化を図る観点から、事業運営に必要な委員会や会議に要する経費等について見直しを図った上で2割相当額を減額して計上したところであり、今後、評価件数の増加が想定される中、必要最小限の所要額を計上しているところである。</p>				
予算チームの監視・効率化	事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること					
補記						

【平成20年度実績】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.財団法人テクノエイド協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	委員謝金・臨時職員賃金	32			
旅費	委員旅費・職員旅費	2			
庁費	印刷製本費・通信運搬費等	6			
計		40	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)